令和　　年　　月　　日

業務・工事名：

受注会社名：

作成者：

３次元モデル照査時チェックシート

3次元モデルが正しく作成されていることを確認する場合

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 内容 | 照査対象 | 照査結果 |
| 有 | 無 |
| 1. 測地系、単位系
 | 測地系・単位系は正しく設定されているか |  |  |  |
| 1. 配置位置
 | 構造物が正しい位置に配置されているか |  |  |  |
| 1. 作成意図
 | 事前協議等で決定したモデルが作成できているか |  |  |  |
| 1. 詳細度
 | 活用目的に応じた詳細度で作成されているか |  |  |  |
| 1. 属性情報
 | 付与した属性情報の内容が正しいか確認したか |  |  |  |
| 1. 不整合
 | ねじれや離れ、重なり等のモデルの不整合がないか |  |  |  |
| モデルの更新範囲や必要な部材や周辺構造に抜けがないか |  |  |  |
| ソリッドがサーフェスに分解されていたり、面が閉じていなかったりしていないか |  |  |  |
| 1. 参照資料
 | 外部参照資料のリンクが切れていないか確認したか |  |  |  |
| 1. データ変換
 | J-LandXMLデータに変換されたことを確認したか1） |  |  |  |
| IFCやJ-LandXMLデータを正しく変換されたことをビューアで確認したか |  |  |  |

1）LandXMLには、オリジナルのLandXMLと、「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準（案）」のLandXML（通称、J-LandXMLという）の2種類がある。電子納品では、J-LandXMLデータでの納品としている。3次元CADソフトウェアによっては、オリジナルのLandXMLデータとJ-LandXMLデータのどちらも出力が可能なソフトウェアもあるため、納品対象となるJ-LandXMLデータに変換されたことを確認する。

3次元モデルと2次元図面の整合を確認する場合（上記の追加分として実施）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 内容 | 照査対象 | 照査結果 |
| 有 | 無 |
| 1. 2次元図面との整合
 | 主要構造部について、3次元モデルと2次元図面が整合していることを確認したか |  |  |  |

電子成果品が正しく作成されていることを確認する場合

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 内容 | 照査対象 | 照査結果 |
| 有 | 無 |
| 1. フォルダ構成
 | 以下に基づいて、フォルダが正しく作成されているか＜業務の場合＞・土木設計業務等の電子納品要領・電子納品運用ガイドライン【業務編】＜工事の場合＞・工事完成図書の電子納品等要領・電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】 |  |  |  |
| 1. 引継書シート等
 | 3次元モデル作成引継書シート、BIM/CIM実施計画書等が格納されているか。ファイル名は、ファイル命名則に則っているか |  |  |  |
| 1. 3次元モデル等
 | 3次元モデル作成引継書シートに記載されている3次元モデル成果物、3次元モデルの全てをフォルダに格納しているか |  |  |  |
| 1. IFC、J-LandXML
 | オリジナルデータの他、IFCやJ-LandXML等の標準的なデータ形式で納品する3次元モデルは、標準的なデータ形式も格納されているか |  |  |  |
| 土工形状モデルの納品について、オリジナルデータの他、中心線形データと、横断形状の変化する箇所の横断形状データをJ-LandXMLで出力したものが格納されているか |  |  |  |

※1 各チェック項目について照査対象の有無を確認し、照査対象が有る場合には『有』欄に“✓”を記入し、照査後に『照査結果』欄に“○”と記すこと。照査対象が無い場合は『無』欄に“✓”を記入する。

※2 本チェックシートに基づく照査を行った箇所を検査時に説明できるよう、あらかじめ整理しておくこと。また、必要に応じて関連する設計図等（線形計算書、平面図、構造一般図等）を合わせて提出すること。